

## 【表紙】

|            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】     | 四半期報告書                             |
| 【根拠条文】     | 金融商品取引法第24条の4の7第1項                 |
| 【提出先】      | 関東財務局長                             |
| 【提出日】      | 平成26年1月14日                         |
| 【四半期会計期間】  | 第7期第3四半期（自平成25年9月1日至平成25年11月30日）   |
| 【会社名】      | 株式会社ドトール・日レスホールディングス               |
| 【英訳名】      | DOUTOR・NICHIRES Holdings Co., Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 星野 正則                      |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都渋谷区猿楽町10番11号                    |
| 【電話番号】     | 03-5459-9178（代表）                   |
| 【事務連絡者氏名】  | 常務取締役 木高 毅史                        |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都渋谷区猿楽町10番11号                    |
| 【電話番号】     | 03-5459-9178（代表）                   |
| 【事務連絡者氏名】  | 常務取締役 木高 毅史                        |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>（東京都中央区日本橋兜町2番1号）   |

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

| 回次                              | 第6期<br>第3四半期連結<br>累計期間     | 第7期<br>第3四半期連結<br>累計期間     | 第6期                       |
|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 会計期間                            | 自平成24年3月1日<br>至平成24年11月30日 | 自平成25年3月1日<br>至平成25年11月30日 | 自平成24年3月1日<br>至平成25年2月28日 |
| 売上高(百万円)                        | 81,594                     | 86,086                     | 107,825                   |
| 経常利益(百万円)                       | 5,966                      | 7,187                      | 7,653                     |
| 四半期(当期)純利益(百万円)                 | 3,128                      | 3,387                      | 3,598                     |
| 四半期包括利益又は包括利益<br>(百万円)          | 3,737                      | 3,670                      | 4,652                     |
| 純資産額(百万円)                       | 84,433                     | 87,853                     | 85,380                    |
| 総資産額(百万円)                       | 105,003                    | 110,972                    | 105,966                   |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金<br>額(円)        | 64.93                      | 70.30                      | 74.68                     |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期<br>(当期)純利益金額(円) | -                          | -                          | -                         |
| 自己資本比率(%)                       | 80.3                       | 79.1                       | 80.5                      |

| 回次               | 第6期<br>第3四半期連結<br>会計期間     | 第7期<br>第3四半期連結<br>会計期間     |
|------------------|----------------------------|----------------------------|
| 会計期間             | 自平成24年9月1日<br>至平成24年11月30日 | 自平成25年9月1日<br>至平成25年11月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額(円) | 10.55                      | 22.43                      |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権による経済対策や金融政策の効果に対する期待感から景気回復の兆しが見受けられ、また個人消費におきましても宝飾品をはじめとした高額品を中心に持ち直しの動きが見られる半面、消費全般の基調は、物価上昇への懸念から節約志向が強く、引き続き楽観視できない状況で推移しました。

外食業界におきましても、円安の影響による輸入品価格の実質的な値上がりや原材料価格の上昇により、国内景気を下押しするリスクが存在することから、景気の先行きには依然不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、当社グループは、「外食業界におけるエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指し、立地を厳選してグループ全体で36店舗（直営店22店舗、加盟店13店舗、海外1店舗）を新規出店しました。

既存事業においては、積極的な新メニュー開発や新規業態の立ち上げ、顧客の嗜好を合わせグループ全体で30店舗の業態変更をしたほか、業務の効率化を推進するとともに、ブランド価値の向上を目指した改装を大きく推進するなど、事業基盤の強化に努めました。

海外店舗展開については、香港の「TMT Plaza」に「洋麺屋五右衛門」を出店し、当第3四半期連結会計期間末時点の海外店舗数は、シンガポール15店舗、台湾4店舗、中国4店舗、香港2店舗、韓国1店舗、フィリピン1店舗の合計27店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高860億86百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益68億24百万円（前年同期比22.5%増）、経常利益71億87百万円（前年同期比20.5%増）、四半期純利益33億87百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

（日本レストランシステムグループ）

日本レストランシステムグループでは、洋麺屋五右衛門を中心とした既存事業のブラッシュアップに注力するとともに、「星乃珈琲店」を積極的に展開しました。「星乃珈琲店」では東京の六本木、福岡、大阪、名古屋、埼玉などに新規出店したほか、既存店舗を「星乃珈琲店」へ業態変更するなど、お客様のご要望にお応えできるよう、店舗網の拡大に努めました。また、新たな展開としては、カレー専門店の「天馬咖<sup>55</sup>」、手作りカレーパンも味わえる「咖<sup>55</sup>とカレーパンの店 天馬屋」などの新業態を積極的に出店するとともに、「牛たん焼き仙台見」や「卵と私」ブランドへの業態変更も実施致しました。

以上の結果、日本レストランシステムグループにおける売上高は238億14百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益は32億18百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

#### (ドトールコーヒーグループ)

カフェ事業においては、季節に合わせた魅力ある商品作りを継続するとともに、時間帯別のセットメニューやレジ前商品における新商品施策がお客様のご支持を頂くなど、既存事業の強化と美味しさの追求に努めました。また、デザイン性の高い店舗の新規出店や既存店の改装などを積極的に展開するなど、ブランド力の強化に努めたことも奏功し、天候の影響を強く受けながらも、既存店は昨年とほぼ変わらない結果を出すことができました。

卸売事業においては、昨年来の営業力強化が大きく実り、ドリップコーヒーやコーヒー原料などの販路および取引先の拡大、またコンビニエンス・ストアを中心にチルド飲料など定番商品と新商品の継続的な投入に注力し、業容の拡大に努めた結果、売上を大きく伸ばすことができました。

以上の結果、ドトールコーヒーグループにおける売上高は563億87百万円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益は34億41百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

#### (その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に国内及び海外における外食事業に係る小売及び卸売に関する事業となります。売上高は58億83百万円（前年同期比12.1%増）、セグメント利益は2億61百万円（前年同期損失4百万円）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、営業に伴う現預金の増加や売掛金の増加等により1,109億72百万円と前連結会計年度末と比べ50億5百万円の増加となりました。負債は、買掛金の増加や、未払法人税等の増加等により231億19百万円と前連結会計年度末と比べ25億33百万円の増加となりました。純資産は、剰余金の増加等により878億53百万円となり前連結会計年度末と比べ24億72百万円の増加となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

特記事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 200,000,000 |
| 計    | 200,000,000 |

###### 【発行済株式】

| 種類   | 第3四半期会計期間末現在発行数(株)<br>(平成25年11月30日) | 提出日現在発行数(株)<br>(平成26年1月14日) | 上場金融商品取引所名<br>又は登録認可金融商品<br>取引業協会名 | 内容        |
|------|-------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 50,609,761                          | 50,609,761                  | 東京証券取引所<br>(市場第一部)                 | 単元株式数100株 |
| 計    | 50,609,761                          | 50,609,761                  | -                                  | -         |

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日                       | 発行済株式総<br>数増減数<br>(株) | 発行済株式総<br>数残高(株) | 資本金増減額<br>(百万円) | 資本金残高<br>(百万円) | 資本準備金増<br>減額<br>(百万円) | 資本準備金残<br>高(百万円) |
|---------------------------|-----------------------|------------------|-----------------|----------------|-----------------------|------------------|
| 平成25年9月1日～<br>平成25年11月30日 | -                     | 50,609,761       | -               | 1,000          | -                     | 1,000            |

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

(平成25年8月31日現在)

| 区分             | 株式数(株)                     | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------------|----------|----|
| 無議決権株式         |                            |          |    |
| 議決権制限株式(自己株式等) |                            |          |    |
| 議決権制限株式(その他)   |                            |          |    |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式)<br>普通株式 2,419,000 |          |    |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式 48,108,900            | 481,089  |    |
| 単元未満株式         | 普通株式 81,861                |          |    |
| 発行済株式総数        | 50,609,761                 |          |    |
| 総株主の議決権        |                            | 481,089  |    |

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式32株含まれております。

## 【自己株式等】

(平成25年8月31日現在)

| 所有者の氏名又は名称          | 所有者の住所          | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|---------------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| (株)ドトール・日レスホールディングス | 東京都渋谷区猿楽町10番11号 | 2,419,000    |              | 2,419,000   | 4.78                   |
| 計                   |                 | 2,419,000    |              | 2,419,000   | 4.78                   |

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成25年2月28日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成25年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| <b>資産の部</b>   |                         |                               |
| 流動資産          |                         |                               |
| 現金及び預金        | 27,874                  | 31,688                        |
| 受取手形及び売掛金     | 5,565                   | 7,376                         |
| 有価証券          | 3,000                   | -                             |
| 商品及び製品        | 1,493                   | 1,518                         |
| 仕掛品           | 91                      | 106                           |
| 原材料及び貯蔵品      | 1,015                   | 981                           |
| 繰延税金資産        | 690                     | 939                           |
| その他           | 2,491                   | 2,706                         |
| 貸倒引当金         | 61                      | 37                            |
| 流動資産合計        | 42,160                  | 45,279                        |
| 固定資産          |                         |                               |
| 有形固定資産        |                         |                               |
| 建物及び構築物(純額)   | 16,975                  | 17,408                        |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 748                     | 702                           |
| 土地            | 13,768                  | 14,476                        |
| リース資産(純額)     | 1,957                   | 2,276                         |
| その他(純額)       | 1,317                   | 1,251                         |
| 有形固定資産合計      | 34,767                  | 36,116                        |
| 無形固定資産        | 1,406                   | 924                           |
| 投資その他の資産      |                         |                               |
| 投資有価証券        | 3,533                   | 5,125                         |
| 繰延税金資産        | 1,246                   | 1,174                         |
| 敷金及び保証金       | <sup>1</sup> 21,093     | <sup>1</sup> 20,691           |
| その他           | <sup>1</sup> 1,758      | <sup>1</sup> 1,659            |
| 貸倒引当金         | 0                       | -                             |
| 投資その他の資産合計    | 27,632                  | 28,651                        |
| 固定資産合計        | 63,805                  | 65,692                        |
| 資産合計          | 105,966                 | 110,972                       |



(単位：百万円)

|                    | 前連結会計年度<br>(平成25年2月28日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成25年11月30日) |
|--------------------|-------------------------|-------------------------------|
| <b>負債の部</b>        |                         |                               |
| <b>流動負債</b>        |                         |                               |
| 支払手形及び買掛金          | 5,366                   | 6,440                         |
| 短期借入金              | 2,520                   | 2,020                         |
| 未払法人税等             | 1,080                   | 1,993                         |
| 賞与引当金              | 913                     | 502                           |
| 役員賞与引当金            | 43                      | 37                            |
| 株主優待引当金            | 72                      | -                             |
| その他                | 4,961                   | 6,316                         |
| 流動負債合計             | 14,956                  | 17,310                        |
| <b>固定負債</b>        |                         |                               |
| リース債務              | 704                     | 751                           |
| 退職給付引当金            | 1,837                   | 1,966                         |
| 資産除去債務             | 752                     | 778                           |
| その他                | 2,336                   | 2,312                         |
| 固定負債合計             | 5,629                   | 5,808                         |
| 負債合計               | 20,585                  | 23,119                        |
| <b>純資産の部</b>       |                         |                               |
| <b>株主資本</b>        |                         |                               |
| 資本金                | 1,000                   | 1,000                         |
| 資本剰余金              | 25,858                  | 25,858                        |
| 利益剰余金              | 60,816                  | 62,951                        |
| 自己株式               | 2,784                   | 2,785                         |
| 株主資本合計             | 84,890                  | 87,024                        |
| <b>その他の包括利益累計額</b> |                         |                               |
| その他有価証券評価差額金       | 50                      | 239                           |
| 繰延ヘッジ損益            | 331                     | 435                           |
| 為替換算調整勘定           | 27                      | 24                            |
| その他の包括利益累計額合計      | 409                     | 699                           |
| 少数株主持分             | 80                      | 128                           |
| 純資産合計              | 85,380                  | 87,853                        |
| 負債純資産合計            | 105,966                 | 110,972                       |

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

|                   | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 平成24年3月1日<br>至 平成24年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 平成25年3月1日<br>至 平成25年11月30日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高               | 81,594   | 86,086   |
| 売上原価              | 33,296   | 34,994   |
| 売上総利益             | 48,298   | 51,091   |
| 販売費及び一般管理費        | 42,729   | 44,267   |
| 営業利益              | 5,568  | 6,824  |
| 営業外収益             |  |  |
| 受取利息              | 242  | 99   |
| 受取配当金             | 38   | 26   |
| 為替差益              | 73   | 170  |
| 不動産賃貸料            | 34   | 34   |
| その他               | 79   | 85   |
| 営業外収益合計           | 467  | 416  |
| 営業外費用             |  |  |
| 支払利息              | 19   | 16   |
| 不動産賃貸費用           | 23   | 24   |
| 持分法による投資損失        | 21   | 1  |
| その他               | 5  | 10   |
| 営業外費用合計           | 70   | 52   |
| 経常利益              | 5,966  | 7,187  |
| 特別利益              |  |  |
| 投資有価証券売却益         | 1,309  | 77   |
| 受取補償金             | -  | 48   |
| その他               | 17   | 3  |
| 特別利益合計            | 1,326  | 129  |
| 特別損失              |  |  |
| 固定資産除却損           | 42   | 74   |
| 投資有価証券売却損         | 1,435  | 14   |
| 投資有価証券評価損         | 21   | -  |
| 減損損失              | 569  | 1,091  |
| その他               | -  | 0  |
| 特別損失合計            | 2,068  | 1,180  |
| 税金等調整前四半期純利益      | 5,224  | 6,136  |
| 法人税等              | 2,113  | 2,758  |
| 少数株主損益調整前四半期純利益   | 3,110  | 3,378  |
| 少数株主利益又は少数株主損失( ) | 18   | 9  |
| 四半期純利益            | 3,128  | 3,387  |

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

|                  | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 平成24年3月1日<br>至 平成24年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 平成25年3月1日<br>至 平成25年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益  | 3,110  | 3,378  |
| その他の包括利益         |  |  |
| その他有価証券評価差額金     | 417  | 189  |
| 繰延ヘッジ損益          | 138  | 104  |
| 為替換算調整勘定         | 70   | 1  |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 0  | -  |
| その他の包括利益合計       | 626  | 291  |
| 四半期包括利益          | 3,737  | 3,670  |
| (内訳)             |  |  |
| 親会社株主に係る四半期包括利益  | 3,753  | 3,677  |
| 少数株主に係る四半期包括利益   | 16   | 7  |

## 【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

## 1 直接控除している貸倒引当金

|               | 前連結会計年度<br>(平成25年2月28日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成25年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 敷金及び保証金       | 27百万円                   | 27百万円                         |
| 投資その他の資産「その他」 | 52                      | 51                            |
| 2 保証債務        |                         |                               |
| 金融機関借入保証      |                         |                               |
|               | 前連結会計年度<br>(平成25年2月28日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成25年11月30日) |
| 株式会社サンブリッジ    | 13百万円                   | 株式会社サンブリッジ<br>10百万円           |
| 株式会社トレスアルボレス  | 7                       | 株式会社トレスアルボレス<br>6             |
| 合計            | 20                      | 合計<br>16                      |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期

連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は次のとおりであります。

|         | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成24年3月1日<br>至平成24年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成25年3月1日<br>至平成25年11月30日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費   | 2,592百万円                                     | 2,661百万円                                     |
| のれんの償却額 | 72   | 63   |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり<br>配当額<br>(円) | 基準日        | 効力発生日      | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成24年5月29日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 626             | 13.00               | 平成24年2月29日 | 平成24年5月30日 | 利益剰余金 |
| 平成24年10月12日<br>取締役会  | 普通株式  | 626             | 13.00               | 平成24年8月31日 | 平成24年11月5日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり<br>配当額<br>(円) | 基準日        | 効力発生日      | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成25年5月29日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 626             | 13.00               | 平成25年2月28日 | 平成25年5月30日 | 利益剰余金 |
| 平成25年10月15日<br>取締役会  | 普通株式  | 626             | 13.00               | 平成25年8月31日 | 平成25年11月5日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社を持株会社とする当社グループは、2つの中核事業会社を基礎としたセグメントから構成されており、「日本レストランシステムグループ」、「ドトールコーヒーグループ」を主な事業セグメントとしております。

「日本レストランシステムグループ」は、主に直営店におけるレストランチェーンを運営しており、食材の仕入、製造及び販売までを事業活動としております。

「ドトールコーヒーグループ」は、主に直営店及びフランチャイズシステムによるコーヒーチェーンの運営をしており、コーヒー豆の仕入、焙煎加工、直営店舗における販売、フランチャイズ店舗への卸売りやロイヤリティ等の収入、また、コンビニエンスストア等へのコーヒー製品の販売を事業活動として展開しております。

前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

|                       | 報告セグメント             |                  |        | その他<br>(注)1 | 計      | 調整額<br>(注)2 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注)3 |
|-----------------------|---------------------|------------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
|                       | 日本レストラン<br>システムグループ | ドトールコーヒー<br>グループ | 計      |             |        |             |                               |
| 売上高                   |                     |                  |        |             |        |             |                               |
| 外部顧客への売上高             | 22,149              | 54,199           | 76,348 | 5,246       | 81,594 | -           | 81,594                        |
| セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | 1,045               | 202              | 1,248  | 1,713       | 2,962  | 2,962       | -                             |
| 計                     | 23,194              | 54,401           | 77,596 | 6,960       | 84,557 | 2,962       | 81,594                        |
| セグメント利益又は損失<br>( )    | 2,639               | 2,977            | 5,617  | 4           | 5,612  | 43          | 5,568                         |

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に国内及び海外における外食に係る小売及び卸売りに関する事業となります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 43百万円には、主として親会社の管理部門に係わる費用等である配賦不能営業費用549百万円及びセグメント間取引消去578百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本レストランシステムグループ」及び「ドトールコーヒーグループ」セグメントにおいて、処分を予定している事業資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は「日本レストランシステムグループ」で177百万円、「ドトールコーヒーグループ」で230百万円、「その他」で161百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

|                       | 報告セグメント             |                  |        | その他<br>(注)1 | 計      | 調整額<br>(注)2 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注)3 |
|-----------------------|---------------------|------------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
|                       | 日本レストラン<br>システムグループ | ドトールコーヒー<br>グループ | 計      |             |        |             |                               |
| 売上高                   |                     |                  |        |             |        |             |                               |
| 外部顧客への売上高             | 23,814              | 56,387           | 80,202 | 5,883       | 86,086 | -           | 86,086                        |
| セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | 992                 | 307              | 1,300  | 2,101       | 3,401  | 3,401       | -                             |
| 計                     | 24,807              | 56,695           | 81,502 | 7,984       | 89,487 | 3,401       | 86,086                        |
| セグメント利益又は損失<br>( )    | 3,218               | 3,441            | 6,659  | 261         | 6,921  | 97          | 6,824                         |

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に国内及び海外における外食に係る小売及び卸売りに関する事業となります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 97百万円には、主として親会社の管理部門に係わる費用等である配賦不能営業費用607百万円及びセグメント間取引消去569百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本レストランシステムグループ」及び「ドトールコーヒーグループ」セグメントにおいて、処分を予定している事業資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は「日本レストランシステムグループ」で259百万円、「ドトールコーヒーグループ」で316百万円、「その他」で515百万円であります。

報告セグメントの変更等に関する事項

近年、当社グループの各事業会社が提供する商品、サービス内容が多岐に渡り、多角化する傾向にあります。また、グループ内資源の有効活用の観点から各事業会社間でのグループ内取引も増加傾向にあります。このような状況から、従来の商品、サービスの提供内容等で区分していた報告セグメントでの開示が当社グループの業績等の概要を適切に反映しない懸念が生じ、かつ、事業会社間での取引拡大が今後見込まれることが明確となったことを契機にセグメント情報の利用者にとって明瞭で有用な情報開示を目的に、第1四半期連結会計期間から「日本レストランシステム」「ドトールコーヒー」の2つの事業会社を基盤とする事業展開に合わせた区分である「日本レストランシステムグループ」「ドトールコーヒーグループ」に変更いたしました。

この結果、従来の「レストラン事業」を「日本レストランシステムグループ」及び「その他」に、「カフェ事業」を「ドトールコーヒーグループ」に、「卸売事業」を「ドトールコーヒーグループ」及び「その他」に区分掲記するように変更致しました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|                      | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成24年3月1日<br>至平成24年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成25年3月1日<br>至平成25年11月30日) |
|----------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額        | 64円93銭                                       | 70円30銭                                       |
| (算定上の基礎)             |  |  |
| 四半期純利益金額(百万円)        | 3,128  | 3,387  |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円)    | -  | -  |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(百万円) | 3,128  | 3,387  |
| 普通株式の期中平均株式数(千株)     | 48,191                                       | 48,190                                       |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成25年10月15日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....626百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....13円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年11月5日

(注) 平成25年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年1月14日

株式会社ドトール・日レスホールディングス

取締役会 御中

## 有限責任 あずさ監査法人

|                    |       |      |   |
|--------------------|-------|------|---|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 平井 清 | 印 |
|--------------------|-------|------|---|

|                    |       |      |   |
|--------------------|-------|------|---|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 轟 芳英 | 印 |
|--------------------|-------|------|---|

|                    |       |       |   |
|--------------------|-------|-------|---|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 佐藤 義仁 | 印 |
|--------------------|-------|-------|---|

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ドトール・日レスホールディングスの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ドトール・日レスホールディングス及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。